

議 議 議 議 議 町	本日 7 月 2 7 日、議会運営委員会を開催いたしました。本日をもって招集されました令和 2 年第 3 回厚沢部町議会臨時会の運営につきましては、議事日程によることとし、会期については、本日 1 日間とすることに決定しましたので、報告いたします。 なお、提出案件の審議については、質問者、答弁者とも簡潔明瞭な質疑、応答を心がけ、円滑な議会運営を行いますよう御協力をお願いします。 また、補正予算案の質疑につきましては、先の 6 月 1 6 日の議員全員での協議結果を受けまして、一問一答方式で 1 人、細節の説明項目 1 項目につき再々質問までの最大 3 回までとし、その質問につき質問者 1 人が完結した後に次の質問者が別項目について質問を行うようお願いいたします。 以上、委員長報告といたします。 お諮りします。本臨時会の議会運営については、委員長報告のとおりとし、会期は本日 1 日間にしたいと思います。これに御異議ありませんか。（異議なしの声あり） 異議なしと認めます。したがって、会期は本日 1 日間と決定しました。 提出案件は、補正予算案 1 件、財産の取得案 1 件の計 2 件であります。 町長から提案理由の説明について、発言を求められておりますので、これを許します。 町長 令和 2 年第 3 回厚沢部町議会臨時会の開会にあたり、一言ごあいさつと、提案理由を申し上げます。 はじめに、今月上旬に熊本県を中心に九州や中部地方など日本各地で発生した集中豪雨によ
--	---

り、河川の氾濫や土砂崩れなど、甚大な被害となりました。特に熊本県球磨川流域では、大規模な浸水に見舞われ、特別養護老人ホームで14人の方々が犠牲となりました。今回の被害により、各地で亡くなられた方々のご冥福をお祈りいたすとともに、避難を余儀なくされた方々に衷心よりお見舞い申し上げます。今後の早期復旧復興を切に願っております。

先月、国の2次補正予算による新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の配分額が決定いたしました。今回の第2次配分は、北海道では448億円で、本町におきましては、1億9千500万円あまりの配分となり、第1次配分と合わせて約2億5千万円あまりとなりました。緊急事態宣言が解除されて、都市部を中心にクラスター感染者が拡大傾向の中、社会経済など先行きが見えないところではありますが、感染防止や社会経済対策に向けた財源として、有効に活用したい、このように考えているところであります。

さて、政府は、マイナンバーカードと運転免許証の一体化などを検討することを明らかにしたところです。菅官房長官は、「日本の成長力や国際競争力を維持するため、マイナンバー制度の改善を図る必要がある」と述べ、カードの普及率が低迷しており、用途の拡大や利便性の向上を図ることで保有者を増やし、行政のオンライン化を促進することとしております。一体化の詳細については、今後検討することとしておりますが、令和3年3月からはカードを健康保険証として利用できるよう、すでに準備を進めているところであります。いずれにいたしましても、カードの普及にあたっては、国民にとって安全で安心できる利便性のあるものとして活用できるよう、政府の対応を願うものであります。

次に、本臨時会に提案いたします案件は、補正予算案1件、財産の取得案1件の計2件であり

議 議 議	ます。 議案第1号の令和2年度厚沢部町一般会計補正予算につきましては、1億7千573万6千円を追加し、予算の総額を52億6千178万2千円にしようとするもので、内容については、おもに新型コロナウイルス感染症対応の地方創生臨時交付金を活用した各種事業予算を計上しております。 議案第2号の財産の取得につきましては、小中学校学力向上教育用タブレット購入額が、条例で定める額を上回ることにより、議会の議決を求めるものであり、去る7月14日、指名競争入札で、株式会社栄電社、株式会社サンテックス、株式会社近藤商会、函館インフォメーション・ネットワーク株式会社、株式会社エスイーシー、リコージャパン株式会社販売事業本部北海道支社公共営業部の6社が入札した結果、リコージャパン株式会社販売事業本部北海道支社公共営業部が、1千916万円で落札し、現在仮契約中であります。本契約を締結したく、地方自治法第96条第1項第8号及び議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第3条の規定により、議会の議決を求めるものであります。 以上が本臨時会に提案いたしました議案の概要であります。詳細については、副町長、関係課長に説明にあたらせますので、ご審議の上、ご賛同賜りますよう、宜しく願いを申し上げます。 これより議事に入ります。 日程第5 議案第1号 令和2年度厚沢部町一般会計補正予算、議題とします。 議案の説明を求めます。
----------------------	--

議 長	税務財政課長
税 務 財 政 課 長	議案第 1 号の令和 2 年度厚沢部町一般会計補正予算第 5 号の内容について、説明いたします。 (議案内容説明記載省略)
議 長	説明が終わりましたので、質疑に入ります。
議 長	最初に歳入全般について質疑ありませんか。ページ数は 7 ページから 1 1 ページです。
議 長	2 番 山崎議員
山 崎 議 員	8 ページの総務費国庫補助金について、質問いたします。新型コロナウイルス感染症対策地方創生臨時交付金 2 億 1 2 0 9 万 6 千円がこのように計上されているわけでありますけれども、この 2 億 1 2 0 9 万 6 千円、大変細かい数字が出ていますので、この積算根拠をどういような形でこの創生臨時交付金が積算されて数字が示されたのか根拠をお知らせ願います。
議 長	総務政策課長
総 務 政 策 課 長	まず初めに第 1 次配分と、それから 2 次配分の合計額をお知らせしたいと思います。併せまして 2 億 5 2 7 6 万円を 2 次配分までで交付決定されているところでございます。今回の 2 億 1 2 2 0 9 万 6 千円の内訳でございますけれども、4 月に発行いたしましたプレミアム商品券、この発行事業のですね、財源調整のマイナスでございますが、それ以外で今回の予算計上を全部です、ね、数的には 1 7 件ほど事業を今回の補正予算に計上しております。それぞれの事業費に充てた臨時交付金の合計額が今回 2 億 1 2 0 9 万 6 千円ということでございますが、主に大きいものとしてはですね、総務費の方で計上しております感染症、それから及び災害対策備蓄倉庫の整備事業に 6 3 0 0 万円ほど、それから全町民を対象にいたしました一人 2 万円相当の商品券の計上

議長 山崎議員	が 7 5 7 1 万 9 千円と。それ以外で諸々の事業費に今回計上したことにより 2 億 1 2 0 9 万 6 千円計上ということでございます。 2 番 山崎議員 積算というのは、例えば町の方で地方創生の交付金がこういう理由でこういうことに使用したいのでお願いしたいという、そういうものなのか、それともまた、国の方から「こうだよ。これをどうぞ。」っていう、そういうふうに上から下がってくるものか、どちらなんですか。この性格というのは。それとも、こちらの方からいろんなメニューを立てて積算して、「是非地方創生にはこういう資金力必要ですからお願いしますよ。」という、そういうやり方なのか、それともまた、上から一方的にぼーんと下がってきて「これでやんなさい。」っていうに、どちらなんですか。
議長 総務政策課長	総務政策課長 この臨時交付金の性格でございますけれども、まず現在の新型コロナウイルス感染症拡大防止対策に活用、それから各市町村のですね、経済活動対策と言いますか、それらに使うことで一応各町村で実施計画を立ち上げた中で国に報告して承認をもらおうと、で、それを予算化して実施するという流れになってございます。
議長 山崎議員	2 番 山崎議員 今課長は、いろいろ実施計画をまとめた中で国の方をお願いをして予算獲得するという。だけでも今まである町の有力な人から電話入りまして、「厚沢部町のコロナ対策はどういうことをやっているんですか。よその町はいろいろニュースとして流れているけど厚沢部町、さっぱり見え

議 長 総 務 政 策 課 長	ない。」と。ただ、「厚沢部町は、国のお金の引継ぎ役だけをしているのではないですか。」という。それと同時にプレミアム商品券も一番先に北海道の中で手をかけていてやりましたけど、そして、また10万円を全町民に補助いたしました。だけど、何かしら成果と言うか効果と言うか狙いというのが見えてこないんですよ。ですから「行政は何をやっているんだ。」とかっていう、そういう大変厳しい電話が入っております。そしてですね、その人はもう90歳にもなるんです。その方がいわくには「今ほどきつく辛い時期はない。」って言ってます。今まで90年以上生きてきたけども。なぜかと言うとやっぱしそれだけ自分の活動を制限されてしまうわけなんですよ。『あれやったらだめですよ。自粛しなさいよ。』と、こういう。だから、そういうのがきついんです。だから、是非いろんな形で行政の方には指導も願いたいし、支援的な形で元気になるような施策を是非出してほしいと、そういうことでありますので何かしら今までいろんなことやっていたその反省っていうのはなかったですか。課長、どうですか。プレミアム商品券もいろいろやっただろうし、10万円ずつのさ、補助金も皆さんにいただいってもらって、地域を活性化するためっていうことでやりましたけど、何かしらこの成果が挙がってないような気がしていますけれども、それをどういうふうに評価をしていますか。 総務政策課長 これまで町内の飲食業等ですね、経済活性化のために発行いたしましたプレミアム商品券、これにつきましては10月の20日まで使用できるということで、中間ですけれども今月中過ぎあたりでの数字でございますけれども65パーセント相当の方がもう使用されいるということを知っております。それから、その後に第2弾として予算化させていただきました中小企業の経営
----------------------------	--

議 町	安定化奨励金につきましてもですね、これ、議員協議会の中で細かく説明しようとしておりましたが、２７００万円の予算計上させていただきましたけれども、結果的にはその範囲内で収めることができたということで、額的に打撃を受けた中小企業さんもおられるかと思いますが、１０万円・３０万円・５０万円、それぞれの区分分けで今回支援金を出したわけですが、この後どうなるか分かりませんがその時点ではそれなりの効果があったんではないかなというふうに考えているところでございます。また、この後ですね、国の方でも２次配分まで来ておりますけれども、第３次配分も予定しているということで、額はどれくらいになるか分かりませんが、それまで決定額が分かり次第ですね、それらも含めてまた第３弾と言いますか第４弾と言いますか、それらの町民に対してのどういう形になるかあれですが、予算化させていただいて、何とか町内の経済、またコロナの感染拡大防止対策に予算計上させていただきたいというふうに考えております。 町長 今コロナ対策のこの国の交付金事業、このように今厚沢部に配分ありました。実はこれ、先ほど総務課長申し上げましたように第２次ではどのくらい必要かということ各町では計画をまとめながら要求をします。総額要求をしますが、全国の配分の中で今回充当されたこの分だけ。ただ、この中で「こういうもの、こういう項目に充当させてください。」というふうな国の基準があります。したがってその基準に合わせてわが町も事業を進めるわけですが、いかんせん私どもの方はすでに進めているサービス事業がたくさんあります。そういう単独でサービス事業やっているものは、この事業に対象ですから、これで財源の調整をしているというものが中に多
----------------	--

議 長 山 崎 議 員 議 長 山 崎 議 員	く見えるわけであります。それと同時に前期の、1回目のこの交付金の残している分も併せて今回はこういうものに進めるということで、特に一番目新しいもの、各町見えますけど、1世帯1万円だとか各町でやっておりますけど、わが町については、1世帯のうち何人いようと1人2万円ということでそれぞれ地元の消費還元をしたい、これが経済活性化に、町内の経済に一番効果があるだろうと、こういうことで今2万円の商品券を各家庭に家族単位で配布すると、こういうその計画をしているところで、いずれにしてもこの今回のコロナ対策につきましては、幸いにして厚沢部はまだ感染者はおりませんけどもいつどのような時に入ってくるのか分かりません。それらの予防に対して各民間の団体、それから町の保育所、給食センター全て、病院、こういう施設、民間の当然ゆいま〜るだとかそういう所にもこの予防対策の希望としてそれらを全部配布するというふうな、これ官民一緒になった対策を今進めておりますので、この総務費の中ではそういうものを含めた町全体が予防対策に入る、こういう対策を町がものを与える、こういうふうな方法で今回は予算化しております。 ほかに歳入全般について質疑ありませんか。 議長、もう3問言ってしまったんだけど、町長の答弁に対してちょっと私は不服な点があるんですけれども。 具体的にどういう要件でしょうかね。 ということは、町長おっしゃることは素晴らしいことなんです。ただ、それを町長アナウンスしていないんですよ。町民に対して。こうなんだと。ですから「町は何をやってんだ。」と、こういう声が出るんですよ。だから町長はね、今町長おっしゃったとおりのことをぜひ次回の広
---	---

議 町	長 長 報か何かにどんと出してください。「厚沢部町は一度でなくこういうことをやっているんです。ですからね頑張らしましょう。」と、そのへんのところは町長今まだ行動移していないもんだから誤解をして「町は何をやっているんですか。」、こういう声が出ると私は思っていました。 捕捉でお願いします。 捕捉しますけれども、町の予算そのものは、現段階では議会の承認をいただいて初めて行動が移すと、こういうものですから。今厚沢部町においては、これらのものが予算の中でオーケーになった場合にはこういうことが今皆さん方の手元に行きますよ、特に今の1世帯住民2万円なんてのは、まだこの新聞で皆さん方知っている程度でまだ私どもら本格的な広報はしておりません。したがって今回予算が通過すれば当然広報といろんな場面をとらえて住民の方々に広報すると、こういうことになりますので今議会終わるまでしばらくお待ちいただきたい。
議 議	長 長 ほかに歳入全般について質疑ありませんか。 それでは次に歳出の質疑に入ります。歳出は款ごとに行います。最初に2款総務費について、ページ数は12ページから13ページまでです。
議 上 戸 議 員	長 員 7番 上戸議員 ちょっと分からないので教えていただきたいんですけども、地方創生臨時交付金事業の中で工事請負費7400万円ほどの予算持ってますけども倉庫建てるということで、こういう倉庫というのはこれ、前々からそういうふうな計画があったのか、それとも突然出てきたのか、このへんの説明ともう一つ新しく倉庫建てて感染症対策の備品、段ボールベッドだとか発電機だとか非常食だとか。今現在こういうのあるのかどうか、それからもしあるとしたらどこの倉庫にあるのかと

議 長 総務政策課長	いうことをご説明をお願いします。 総務政策課長 ほかの工事費関係も入っていますが主に今回の旧土木車庫と言いますか、役場のまず場所、裏にあります元土木の重機を入れていた倉庫になります。調べてみますと年数が昭和50年以前の建物でどちらかからか寄贈受けたものらしいというところまで分かったんですけれども、で行政報告書に載りだしたのが昭和51年からということで、その当時50坪程度の建物でございました。それから増築等を加えて100坪くらいに今現在大きくなってございます。今入っているのが、水道課の車であったり資材であったり、それから一部社会福祉協議会さんのテント、それから祭り等で使う机だとかテーブルだとか椅子が今置かれている。あと一部高齢者事業団の車庫としても一部使っておる建物でございます。今回災害備蓄用ということで現在教育委員会の裏にありますスクールバスの倉庫、あそこにですね、大きいもので言いますと大型発電機、今3台、それからそのほかに、さっき言われましたように食料だとか小型の発電機だとか、小型のものが今一部そちらの方に入っていることとございます。それで今回コロナも含めて災害備蓄用の倉庫で、全部ということにはなりませんけども一部5年計画で今備蓄計画を進めております。来年、再来年、3年間かけて一応計画上達成できるだろうということで計画は立てておりました。ただ、その今計画している部分がですね、現在のスクールバスの倉庫では足りないということもございまして今の旧土木車庫を感染症、それから災害備蓄倉庫として一部使わせて備蓄するというような計画で考えております。それで備蓄計画、一応今回のコロナの感染症の問題が出る前の計画でございました。もしできればこの後の国の第3次配分等も考慮したうえで前倒しできるも
--------------------------	--

議 長 上 戸 議 員	の、それから特にコロナの感染症、避難所になりますけれども、避難所用のマスクだとか消毒用だとかそれらのコロナの関係する備蓄も考慮した中で今後整備した物をそちらの土木倉庫に搬入したいというふうに考えております。 7 番 上戸議員 倉庫は、3年計画か5年計画かで前々から計画していたものの中の一環だというふうなことで初めて聞きましたけども、私、新人議員で今までの経過もあんまりよく分からない状態なんです。ですから、例えば年度当初に今年はこの施設を建てる計画がありますよ、ぐらいをアナウンスしていただきたいなというふうに要望しまして質問を終わりたいと思います。
議 長 中 山 議 員 中 山 議 員	1 番 中山議員 18ページになるんですけども、今回の目玉となるのか町民一人あたりの。 13ページ。 18ページですね。違いますね、13ページです。ちょっと目の具合が悪くてすみません。13ページになります。町民支えあい応援券ということで1人2万円なるんですけども、今朝ほど違う資料持ってきたんですけど、それは使用店舗の商工会会員、事業所120店舗等ということで我々もその120という会員の内容がちょっと分からないというようなことがありますので町民の方はなおさら厚沢部町に120店舗あるのかっていうのを疑問に思っているところもあると思うんですけども、今回の中では「等」ということを付けたことと、それと120店舗の事業所について我々に開示していただきたいというふうに思います。
議 長	総務政策課長

総務政策課長	まず基本的に会員数がそれぐらいあるということで基本的にはですね、前回発行いたしましたプレミアム商品券の扱い店で使用できる商品券ということで今考えておりますので、聞くところによると会員にはなっているんだけど、商品券を使えないという店舗が、店舗と言いますか事業所が何軒かあったというような話も聞いておりますのでいずれにいたしましても…。
議長	商工会の会員ということ。
総務政策課長	商工会の会員、今１２０ってなっておりますけれども、扱えないという店舗が何店舗か、店舗と言うのか事業所と言うんですかね、あったというふうな話も聞いております。いずれにいたしましてもそのへんも今回の商品券発行で使える商店がどこどこなるのかっていうのをこれからですね、プレミアム商品券と同じになろうかと思っておりますけれども、精査したうえでですね、各世帯の方に商品券を案内と同時に発行したいと思っております。以上です。
議長	１番 中山議員
中山議員	課長、どうですか。我々もこの１２０店舗ってのは、ちょっと理解していないんですけども、さっき私、「等」という名前を今回付いたのはどういう経過ということと、それと１２０店舗についての我々に対してその名簿を開示していただきたいと思うんですけども、そのへんについてはいかがですか。
議長	総務政策課長
総務政策課長	前回こういうプレミアム商品券ということで発行しておりますけれども、この裏側の方に登録店の一覧ということでこれらが使える店舗ということでご案内しているかと思っております。「等」ってつけたのはですね、この商工会の会員以外、例えばＪＡさんですね、ＪＡさんの店舗、これら

議	長	と、こういうその幅広い「等」に。
町	長	商工会員でない店舗も使える場合もあると。
議	長	そうです。町内店舗であれば。
		そこらへんの内容を中山議員は広く町民に知らしめるべきでないかということを言っているんですよ。
町	長	今、「外」の店舗は今農林商工の方でお知らせします。
議	長	総務政策課長
総務政策課	長	すみません。後ほど資料提示したいと思います。
議	長	ほかに２款総務費について質疑ありませんか。
議	長	６番 香川議員
香川議員		先ほど上戸議員が質問しました備蓄倉庫について、関連した質問をさせていただきたいと思います。３月の定例会、中山議員の一般質問の中で現在備蓄しているものが長期保存パンが、１３５０缶、そしてアルファ米が２８０食、そして飲料水５００ミリリットルが１４５０本、備蓄されていると、その時点で申されていましたが、先ほど総務政策課長申されました備蓄計画を５年でやっていると、では最終的な到達地点、この備蓄量ですね、どれほどのものを目指しているのかお聞きしたいと思います。
議	長	総務政策課長
総務政策課	長	結構な項目数があるんですけども、一応計画につきましては２０２３年までで目標を今現在立てております。食料品と言いましても避難所用ですとか、それから学校給食用の備蓄の食料も

	入ってございます。先ほど言われましたようにそれ以外の例えば毛布ですとか段ボールベッドだとか、その他にトイレだとか色々項目あるんですけども、それらのものを今現在2023年度を目処に備蓄計画を立てているところでございます。また、食料品につきましては、賞味期限もございます。長くて5年というのがございます。この計画の間にですね、当然賞味期限を迎える食料品、例えば保存パンですとか、それから水もそうなんですけども、それらについては期限が近くなったら、今考えているのは各学校の児童生徒さんの試食用として提供するだとか、それからあと町内会の単独になるか合同になるかあれなんですけども、防災訓練等の時に町からそういう賞味期限を迎えそうな食料品については随時提供して行って、さらに更新して参りたいというふうに考えてございます。
議 長 香 川 議 員	6 番 香川議員 項目たくさんあると思うんですけど、例えば非常食に関してなんですけども、中山議員の一般質問のこの数字ですね、聞いた時に意外と少ないんだなと私は思ったんです。もし、災害の規模、あと災害起きて実際避難される方の人数にもよると思うんですけども、おそらくこの備蓄量でいくととんでもない災害で非難される方が結構いる場合、1日もつかもたないかだと私は思うんですよね。実際この備蓄倉庫が新設された場合、さらにその非常食ですか、増えるという考えでよろしいのでしょうか。
議 長 総 務 政 策 課 長	総務政策課長 食料につきましてはですね、保存パン、それからアルファ米、それも白米おかゆということで、あとはもう水ぐらいしかないもんですから、財政的に可能であればですね、今回のこの臨時

	交付金を活用しながら食料品の、今目標のこの算定の仕方というのはですね、計画した段階で人口のですね5パーセント程度で三食分という考え方で目標を立てておりました。ただ、今言われたように当然3日4日経つか経たないぐらいに各方面からの救援物資の到着もあるのかなと思いますけれども、このへんも含めて人口の5パーセントがいいのか10パーセントがいいのか、そのへんも加味しながらですね、今後食料のメニューも増やしつつ数もちょっと考えてこれから検討していきたいなと考えております。
議 長 議 長	ほかに2款総務費について質問ありませんか。 それでは、次に3款民生費について質疑ありませんか。ページ数は14ページから15ページまでです。
議 長 議 長 議 長	民生費について質疑ありませんか。ページ数は14ページから15ページまでです。 それでは、次に6款農林水産業費について質疑ありませんか。ページ数は16ページです。 2番 山崎議員
山 崎 議 員 議 長 農 林 商 工 課 長	農業振興費の野菜生産振興事業費補助金というような形の説明でありますけども、具体的にこの事業っていうの、どういう事業なのかこれをお知らせ願いたいと思います。 農林商工課長
農 林 商 工 課 長 議 長 山 崎 議 員	野菜生産振興事業費の事業の内容でございますが、野菜価格安定基金の運営のための積立金の助成でございます。 2番 山崎議員 マイナス補正しているわけでしょ。だから予算は必要ないからマイナスしたっていう意味なん

議 町	長 町長 長 従来、野菜生産振興事業の中で野菜価格安定基金というのは従来、厚沢部町と農家と、それから農協と３者で進めてきた事業であります。その安定基金、特にその作物の中で大根が来年度からなくなるとい安定基金会議の中で。したがって、町と農協と農家のこの安定基金の積立が必要なくなるといこと。今従来、かなりの金は積んでますから、そういう中で今年はその安定基金の補助で出しておった３００万円は町も農協も不要であると、こういうふうなことから今回補助金をダウンさせたと、こういうものであります。
議 町	長 ２番 山崎議員 長 そうするとこれは事前に年度初めのね、予算立てるときにはこういう予測というものは立てることできなかったんですか。今補正でマイナス補正するっていうことは、私は十二分にこの今町長がおっしゃったような様子は始めに予測ついたはずでしょ。
議 町	長 町長 長 山崎議員言われるように年度前でこの総会がされている場合は、それは可能になります。ただ、安定基金のこの会議というは、５月の末であります。５月の２８日にこの安定基金の農業者、町、それから農協の中でこの会議を開かれて、そしてその方向が大根はなしと、こういうこの方向に決まったもんですから、それであればこれが不必要という会議の中での決定事項ですから。
議	長 ほかに６款農林水産業費について質疑ありませんか。ページ数は１６ページです。

議	長	それでは、次に 7 款商工費について質疑ありませんか。ページ数は 1 7 ページです。
議	長	7 款商工費について質疑ありませんか。
議	長	それでは次に 9 款消防費について質疑ありませんか。ページ数は 1 8 ページです。
議	長	それでは次に 1 0 款教育費について質疑ありませんか。1 9 ペーから 2 3 ページまでです。
議	長	1 0 款教育費について質疑ありませんか。ページ数は 1 9 ページから 2 3 ページまでです。
山	田	5 番 山田議員
議	員	2 2 ページになりますけど、ふるさと創生事業費なんですけれども、この旅費についてお伺い したいと思います。この資料見る限りでも 4 月から 9 月に延期されまして、繁忙期のための経費 7 3 万 5 千円となっておりますが、新型コロナウイルスの影響があるとしてもこれだけの経費が かかるということになりますか。
議	長	教育委員会事務局主幹
教	委	当初 4 月を予定しておりました修学旅行、創造の翼事業ですけれども、4 月は特に航空運賃が安 い、それ以外の月は全部この 7 3 万 5 千円分高くなる、一人あたり 2 万 3 千円程度高くなるって いうのが理由でありまして、その分の増額補正であります。
議	長	5 番 山田議員
山	田	今の答えは承知いたしました。今のこの生徒の安全性を考えるとですね、この 9 月に修学旅 行に行くということになるんですが、今のこの沖縄の状態を見てると 9 月に行けるような状態で はないと私は思っているんですが、それに対してそういう延期の考えとか、その生徒に対する安 全性の考えていうのはお持ちでしょうか。

議 教 委 主 幹	長 幹	教育委員会事務局主幹 今のところ沖縄よりも逆に北海道の方が感染者が依然として多い状況であります。単純に比較しますと研修先を道内にした場合よりも感染リスクは同等かそれ以下になると考えております。ただし、最近では沖縄の方、連日のように新規感染者が報告されております。ただ、現状としましては沖縄に行く計画で進めますけれどもコロナウイルス感染症の拡大状況を日々注視して注目して場合によってはキャンセル料が発生しても中止の判断をせざるを得ない状況も想定されます。ですから最後の最後まで各種情報を集めながら学校側と協議しながら適切に判断していくということで考えております。あとですね、別な研修先、例えば道内の研修に変更できないかどうかということも併せて並行して検討していきたいと考えております。以上です。
議	長	10款教育費について質疑ありませんか。
議	長	それでは質疑を終結します。
議	長	討論に入ります。（ありませんの声あり）
議	長	討論を終結します。
議	長	議案第1号、原案どおり決したいと思います。これに御異議ありませんか。
議	長	（異議なしの声あり）
議	長	異議なしと認めます。したがって議案第1号 令和2年度厚沢部町一般会計補正予算、原案どおり可決されました。
議	長	日程第6 議案第2号 財産の取得について、議題とします。
議	長	議案の説明を求めます。

議 長	教育委員会事務局長
教委事務局長	議案第2号の財産の取得について、ご説明いたします。（議案内容説明記載省略）
議 長	説明が終わりましたので質疑に入ります。
議 長	2番 山崎議員
山崎議員	教育長にちょっとお伺いしますけども、このタブレット端末、これを導入することによって具体的にどのような形で学力向上というか、子どもたちに変化って言うか期待できるようになるのでしょうか。それとも例えば授業にこれを入れた特別なカリキュラムとかそういうの予定しているのでしょうか。
町 長	教育委員会事務局長
教委事務局長	タブレット端末、パソコンの端末でありますけども今現在プログラミング教育、これは実際にやっております。ただ、タブレットに関しまして国のGIGAスクール構想、この補助事業です、今年度中に日本全国各小中学校、生徒1人1台整備しなさいと、そういうことでの補助事業でありました。ただ、このタブレット端末を導入することです、これから考えられるのは、まず子どもたちがこれからこういうノートパソコン等のタブレット、これの使用範囲、これを使い慣れていくことでこれからこういうパソコン等の教育がですね、世界で通用できる、今現在日本においては、まだ世界とは比較が低い方なのでこれから世界で通用できるような子どもたちを育てる。それからですね、このタブレット端末を導入しましてデジタル教育教材、こういうものにも対応して教育に関連していく。それからですね、こういうコロナに発生した場合です、このタブレットを各家庭に貸し出ししましてそれで遠隔授業等もこれで対応できる、そうい

議長 山崎議員	うような構想もあります。以上です。 2番 山崎議員 だからね、具体的にこのタブレットを利用したね、学力向上のどのような手段をしてね、例えば授業の中にそういう時間帯を持ってね、子どもたちにそういう専門的な勉強をするとか、それともまた家庭の方にね、そういう情報を流してね、お教えしてもらおうとかってそういうようなやり方あるだろうと思うんだけど。今考えられているのは、どのようなこのタブレット、どのような利用方法をして子どもたちの資質を高めていくとかってそういう手法っていうかそういうものっていうのはお考えあるんですか。
議長 教委事務局長	教育委員会事務局長 タブレット、導入しまして当然授業中にですね、このタブレット使います。使いましてこの画面見ながら、あとこれから電子黒板等も学校教室に導入します。その電子黒板と先生と個人個人のタブレット、そういうものを連携しながら個人がどの程度この授業を把握しているかと、そういうのも教員の方のパソコンの方に見れると、そういう感じで教育に取り組んでいくと。今までですとどうしてもパソコンとかじゃなくて対面で、口頭でと、そういうような教育でありますんで、そういう対面教育、これも大変重要でありますけども、一人一人のそういう学力つかむにはタブレットでやり取りする方がまだまだそういうものの把握が十分に行える、そういうようなことでこれから授業に取り入れていくと、そういうことであります。
議長	議長 教育長、補足説明ないですか。 ほかに議案第2号 財産の取得について、質疑ありませんか。

議 長 山 崎 議 員 教 育 長	2 番 山崎議員 そうすると例えば実際にこういうタブレット、こういうような情報交換やりとりすることによって例えば学校の子どもたちの人数の多いとか少ないとかって関係なくなりますよね、1 対 1 っていうふうなそういう格好になるんで対面教育云々っていうよりもそういうような情報の流通システムが進んでくると学校の規模が大きいとか小さいとか関係なくなるような気がするんですけども、それはどうですか、将来の学校統合とかっていう問題との絡みっていうのは私はある程度、学校の必要性って何なのかと思ったりもして、どうでしょうかね。 今ご質問の内容につきまして、どのような形で使うかというのは、この度の補正が認められた段階で各学校の中ですでに活用もしているところでもありますけれども、現在あるものにつきまして。一層の活用が行われるわけですが、それは各教科の中でもう何て言いましょう、各教員が各学校の中で子どもたちのために工夫をして、また活用力ということよりもそれを活用して理解を深めていくということがまず目標であります。そして、これらの I C T 機器の活用というのは文科省の高谷課長が言われているようにこういったことにもう一歩踏み出さないことの方が罪であると、それが新聞の中に出ておりましたし、私も実は直に聞きました。ということもありまして具体的に、このことのためにこれがどのように使われるかということを羅列して答えることはできません。全てに活用して、これからは全てに対してこれが使えなきゃいけないと、まさに皆さんがお持ちであろうスマートフォンも高等学校の教育の中ではすでに使われているところでもあります。先般のご存じのように中学校におけるスマートフォンの活用について今審議されているところでもありますし、どのように使うかは考えているところでもあります。そういったこと
-------------------------------------	--

	で全てとつながった形でこのタブレット使用していくということでご理解いただければと思います。それと最後に議員がご質問になった学校の在り方に関しては、このタブレットの端末整備事業との関連性につきましては、私としてはどのように答えしていいか分かりません。それ自体が、タブレット端末を整備することと学校の在り様を一概にお答えすることもできません。あくまでも学校教育は学校教育の中で最大限のパフォーマンスを発揮して子どもたちの学力向上に努めているところですし、現状この後今回のコロナ禍の中においても厚沢部町においては小学校・中学校、たぶんと言いますか、他の町からのいろんな質問の電話があつたりするようなこともありましたが、とにかくできるだけ早く子どもたちに対して良い判断をして良い進め方をして、その中でこういったＩＣＴ機器は大いに活用しているところであります。もっともっと活用したいというのは現場の声であって、これが導入されればさらに一層良いパフォーマンスが発揮できるだろうと、そのようにご理解いただければと思います。以上です。
議	長 ほかに質疑ありませんか。（ありませんの声あり）
議	長 それでは、質疑を終結します。
議	長 討論に入ります。（ありませんの声あり）
議	長 討論を終結します。
議	長 議案第２号、原案どおり決したいと思います。これに御異議ありませんか。
	（異議なしの声あり）
議	長 異議なしと認めます。したがって議案第２号 財産の取得について、原案どおり可決されました。

議 議 議	長 長 長 以上で、本臨時会に提出された案件の審議、全部終了しました。 これをもって、会議を閉じたいと思います。 令和２年第３回厚沢部町議会臨時会、閉会します。御苦勞様でした。（１１：１１）
----------------------	---

上記の会議録は、厚沢部町議会事務局長 森 理生、総務係 吉田 友耶の2名によって記載したものであるが、その内容に相違ないことを証明するためにここに署名する。

議			長
署	名	議	員
署	名	議	員